

■ PHILOSOPHY くしまアオイファームの考え方



農業者理念



温故拓新

前に学んだことや昔の事例を、もう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を見出し自分のものとし、そして道を切り拓いていくこと。

その大地にはずっと昔から先人の知恵が詰まっています。その長年積み重なったものを知り、そして学び、自分のものとする。農業においてこれは非常に大切なことです。しかし時代は絶えず、進化しています。そしてその速度はだんだんと早くなっています。これからの農業に必要なのは、「昔のやり方を学び、今の時代に合わせて“ちょっと変える”こと。」だと私たちは考えます。この“ちょっと変える”が新しき道を切り拓くことに繋がるのです。

キュアリング貯蔵庫(2016年2月完成)



前処理棟(2017年10月完成)



経営理念と私たちの志

強い農業はこえていく

いつの時代も農業者の立場は弱い。休む間はなく、品質は天候に、価格は市場に左右され、こんな地味で辛くリスクの高い仕事を誰がするだろうか。今、国内農業者の平均年齢が65歳を超えている。誰かがやらなくてはいけない。選択肢はない。俺たちがやるしかない。強い志で、時代を超え、しがらみを超え、俺たちはこえていく。農業者よ。涙とあれ。必ず、強い農業はこえていく。

行動指針



モテる大人になれ。

とにかくモテろ。逆に言ううとモテようとしないうつはいらない。今モテなくてもいい。モテようとする姿勢が大切だ。異性だけでなく、すべての人間、なんならすべての生物にモテまくれ。人のことを悪く言う人、人のせいにする人は一生モテません。性別なんて、障がいなんて、才能なんて関係ないよ。まずは自分を信じて実践すること。必ずできる。そしてできたら、それを人に優しく教えること。威風堂々。「めっちゃきつ、しんどい。」って本当は思っているのに、全然顔や態度に出さないし、めっちゃくちゃキラキラ笑顔!「やばい、ピンチだ、どうしよう」って思っている人にさっさと「手伝うよ」って声をかけてあげられる。そんな“モテる大人”になろう!

大型定温貯蔵庫・出荷作業棟(2017年10月完成)



池ノ上貯蔵庫(2020年11月稼働)



■ OUTLINE 会社概要



奈留本社事務所棟



奈留本社事務所中庭

社 名	株式会社くしまアオイファーム
本 社 所 在 地	宮崎県串間市大字奈留6564-12
事 業 内 容	さつま芋の生産、加工、販売
代 表 者 名	池田 誠・奈良迫 洋介
創 業	1950年
法 人 設 立	2013年12月16日
資 本 金	70百万円
売 上	21億7,000万円(第10期実績)
契 約 農 家 数	250名(2023年度作付け予定 法人含む)
年 間 取 扱 量	10,200t(第10期実績)
従 業 員 数	100人
決 算 期	7月

2023年10月時点

主な受賞歴・メディア紹介

受賞歴

2015年 宮崎県および串間市立地企業認定
2015年 第2回九州未来アワード審査員特別奨励賞
2016年 「はばたく中小企業・小規模事業者2016」受賞
2016年 宮崎県成長期待企業認定
2017年 平成28年度輸出に取組む優良事業者表彰
農林水産大臣賞受賞
2017年 宮崎中小企業大賞受賞
2018年 第5回ディスカバー農山漁村の宝 全国32選に選定
2019年 第55回宮崎日日新聞賞「産業賞」受賞
2022年 令和3年度6次産業化優良事例 大臣官房長賞受賞
2022年 農業イノベーション大賞2022 大賞受賞
2022年 令和4年度宮崎県次世代リーディング企業認定



令和4年度宮崎県次世代リーディング企業認定証交付式(2022)

メディア紹介

2020年 1月22日 テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
2020年10月10日 NHK「有吉のお金発見突撃!カネオくん」
2021年 5月16日 TBS「がっちりマンデー!!」
2021年12月25日 日本テレビ「世界一受けたい授業」
2022年 6月20日 ニコニコ「青山なぎさの勝手に!mo協会」
2023年10月12日 テレビ東京「日経スペシャルカンブリア宮殿」



平成28年度輸出に取組む優良事業者表彰 表彰式(2017)

株式会社くしまアオイファーム 〒889-3531 宮崎県串間市大字奈留6564-12 TEL: 0987-71-2117
会社HP: <https://aoifarm-gr.com> 通販サイト: <https://a-oimall.com>



● AoiFarm

■ ABOUT US くしまアオイファームの強みとは？

01 めんどくさい ことやりません。

■青果用サツマイモをメインに
加工用原料まで幅広く取り扱い
自社生産に加え200軒を超える契約農
家様との連携で多量多品種のサツマイ
モを取り扱っています。さらに弊社独自の
ブランディング、お客様のニーズに
合わせた規格変更や各お客様専用の
パッケージデザインにも対応。



02 いいものをつくるための 設備投資

■いいものがいつでもある

「おいしい」ものを世界中のたくさんの人
たちに届けたい。そのための設備投資。
2022年現在、関係設備含む貯蔵庫関連
の整備を進め、自社貯蔵設備の総収容
量は約3,500トン。さつまいもの周年出荷
を可能にしています。



03 管理体制の システム化

■製品管理から環境管理まで
情報の全てを一元化・可視化
クラウドシステムを活用した管理体制で
業務効率を最大化。製品、入出庫情報の
全てを管理する自社システム「KSK」で
トレーサビリティを確立しています。



04 美味しい さつまいもを 世界へ。

■さつまいもの輸出シェア約25%
年間輸出量約1,200t、輸出額約3億円

■鮮度保持袋の使用
結露防止型鮮度保持袋を採用。袋自体に直径が
髪の毛ほどの穴をあけることで、袋内のO2と
CO2の濃度を調整し、作物の呼吸量を抑え、鮮
度を保つ。



05 宮崎大学との 共同研究

■研究拠点の設立
地元宮崎大学と連携し、サツマイ
モに関する複数の共同研究開発に
よるイノベーションの創出、活動を
通じた人材育成等を目的とする共同
研究講座を設立。ニーズに合った
新しい品種の開発や高品質な
苗だけを選抜し、安定的で多量の
苗の供給を目指します。



■栽培管理



■環境管理



■ VISION くしまアオイファームの今後の展望

■サツマイモの「花」からつくる蜂蜜事業

サツマイモの路地開花性の付加価値を向上させる目
的で、サツマイモの蜜源植物としての可能性を調査。
開花性の高い品種「花らんまん」をはじめとする複数の
品種で蜂蜜の安定性や成分分析試験を行う。出来
た蜂蜜はスイーツをはじめ、サプリや美容品など様々
な用途への展開が可能。また、蜂蜜の国内自給率は
約5%ほどと低く、国内需要に大きな期待が持てるの
ではと考えサツマイモの蜂蜜事業機軸を目指します。



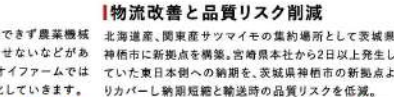
■世界を変える!SDGsへの取り組み

環境に配慮し化学肥料を減らして栽培する取り組み、今で畑に廃
棄されていた小手を需要のある国へ販路開拓し廃棄物・食品ロスの
削減、熟練農家ならではのノウハウの継承や人材育成、地域の学生
を招いて施設見学や農業体験を行い教育・食育を行っています。



■活力のある産地維持へ向けて

生産者が離農する主な理由には、リスクをとって投資できず農業機械
が壊れる、高齢化による体力の低下で繁忙期をこなせないなどがあり
ます。そんな生産者の困りごとを解決するためアオイファームでは
「収穫代行」「苗の販売」などのサービスを構築・強化していきます。



■物流改善と品質リスク削減

北海道産、関東産サツマイモの集約場所として茨城県
神栖市に新拠点を構築。宮崎県本社から2日以上発生し
ていた東日本側への納期を、茨城県神栖市の新拠点より
リカバーし納期短縮と輸送時の品質リスクを低減。



■沖縄県に子会社設立、商品開発事業拠点へ

沖縄県宮古島の広い耕地面積に着目し、サツマイモの栽培を開始。
現地での産地開拓および生産、沖縄本島での商品開発、加工、販売
を一貫して行う新会社「おきなわアオイファーム」を設立し、くしま
アオイファームの子会社化。生産したサツマイモや加工品は国内のみ
ならず海外への出荷形態の構築と安定供給を目指す。



■出荷作業棟 (2017年10月完成)



■いいものをつくる仕組みを整えます。

2017年10月にサツマイモ選果場として日本トップク
ラスの出荷場を設立。サツマイモでは初となる非破
壊内部品位系(光センサー、糖度・空洞・腐れを測定
できる)を導入。日量20tの出荷を可能にしています。

